

(別添7)

事業所名 グループホーム小倉ゲンジョウ

2 目標達成計画

作成日: 令和 2年 6月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	5	○身体拘束しないケアの実践について 外に出ていく利用者に対して、安全配慮のため 日中、玄関を施錠することがあるため、もっと本 人の思いや外に出る背景を知る必要がある。	本人の思いや背景を知ることにより、外へで ることの意味を職員が今よりも理解できるよ うになる。	外に出ることを制限されたら、自分(職員)はどのよ うな気持ちになるかなど自分に置き換えて考えてもら い、他の職員と意見交換をする。また、利用者の表 情や言動から外に出たい気持ちの仮説を職員がそ れぞれ考え、意見交換し共有する。	4ヶ月
2	35	○災害対策について 令和2年度に小倉自治会主催の防災訓練で、地震など起 こった際に、自治会と近隣の高齢者施設でどのような連携 をしていけば良いかとの研修会があった。 自治会と近隣の高齢者施設での連携についてたくさん意見 が交わされたが、連携の実践まではまだ行っていない。	小倉自治会の役員さんと面識を深め、地震 のなどの災害時での自治会と施設との連携 について、明確な取り決めを行うことができ るようになる。	自治会長にお願いし、定期的開催されている 役員会に出席させてもらい、災害時での連携に ついて提案を行う。	12ヶ月
3	13	○職員を育てる取り組みについて 認知症に関する知識や認知症の人の気持ち の理解など、各職員でバラつきがあり、本人視 点や立場でのケアができていないことがある。	認知症の基本的な知識を深め、認知症の人 の気持ちの理解を職員全体で深めたうえで ケアが実践できるようになる。	知識を深めるための職場内研修を行う。どこまで知識が身 に付いたか定期的に確認をし、その力量に合わせながら、 適宜OJTを行いながら知識を深めていく。 また、認知症の人の気持ちを理解するために、認知症の方 の気持ちを職員が疑似体験できる研修を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。